

的考え方を入れ過ぎない方がよい。

今後も継続して、討議していくこととした。

【10】治田氏より、大山氏が会報への広告掲載に対し広告費の名目で1回1万円年12回納金出来るとの申し出ありとの報告があった。検討の結果申し出を受けて、広告掲載をすることとした。

【次回】第21回運営会議は、1997年2月10日(月) 18:30~21:00。新宿リサイクルセンター。

「平成維新東京」の各種活動状況

【A】東京5区(豊島区・練馬区) 治田桂四郎

1)1997年1月11日(土) 10:00~12:00

練馬公民館にて「5区総会」を開催する。

【B】財務会計(担当・神村知行) 1996/11/23現在

入金:前期繰越 777,519 出金:会報発行 591,638

会費収入 588,000 その他経費 21,673

協力金 51,000 合計 613,311

総会会場費41,000

会報売上 7,400 残高:郵便局 420,400

預金利息 121 さくらBK 431,329

合計 1,465,040 合計 851,729

(会報発行のうち郵送費@90円×2345通=211,050円

会報7ヶ月分。会員数345名、今期入会16名、退会5名。9月会員の未更新者53名は実質退会として今後会報発送中止。更新者2年度198名、3年度23名、4・5年度8名、合計229名)

【C】元気の出る一日の会(杉原健児記)

1)日時:1月11日(土) 19:00~21:00

2)会場:JR信濃町駅ビル内「ジョン万次郎」

3)内容:軍事評論家・渡辺文也氏(82才)から、「維新と革命」の演題での約40分の講演があり江頭代表の乾杯で新年懇親会に入った。新年を迎えての多くの出席者からの抱負が語られ、大いに盛り上がった。出席約30名(内新人6名)。

【D】情報公開委員会(治田桂四郎)

1)1997年1月21日(火)

2)新宿区立新宿リサイクルセンター

3)今までの調査のまとめをして、お互いに確認し1月末に長妻氏と都庁記者クラブで発表予定。

4)次の具体的なテーマを検討する。

【E】ガラガラにっポン12月定例会(忘年会)

(原暁子)

日 時:12月14日(土) 11:30~15:30

場 所:大崎さん宅

出席者:21名(21世紀のライフスタイルを考える会から3名、都議候補予定者2名、長妻さん夫妻)

1)はじめにダイオキシンに関するビデオを見て、ドイツと日本の対応の違いについて勉強。

2)都議候補予定者(猪塚さん、番場さん)自己紹介と、決意を聞く。

3)長妻さんから支援に対するお礼があり、次回への挑戦の熱い気持ちも語っていただきました。

4)バザーは、様々なものが寄せられ、売り上げから会への寄付は¥19,300でした。

みんなで自慢の手料理を持ちより、飲んで、食べて、話が盛り上がり、とても楽しい忘年会でした。今、日本の抱えている問題をどう解決したらいいのか。1997年はどんなことをしようか。一時も話の途切れる時間はありませんでした。平成維新実現に向かった一つの熱い心を感じることが出来ました。

【F】首都圏道フォーラム21(治田桂四郎)

日時:12月16日(月) 18:30~20:00。

会場:新宿区立リサイクルセンター4階。

出席:浅見勇喜知・小田武史・佐藤鶴次郎・澤井正治・杉原健児・治田桂四郎・

山本正明(柴野たいぞう秘書)、以上7名。

結論:首都圏道フォーラム21は本日をもって、発展的に解散する。会費残は15030円で、内神奈川からの預かり金9000円を返した残り6030円は、平成維新東京の活動費に寄付する。

議論:何とか残せないか、テーマを絞ってやれば可能では、など検討したが、やはりこれ以上の継続は困難との結論に達した。

以後は「首都圏市民会議」の活動をもり立てて行くこととなった。

【G】平成維新東京協賛会(治田桂四郎)

平成維新東京の活動資金調達の為一口2000円の協賛金を募集することとなった。

| 【平成維新東京協賛金募集】 |
| 1口:2000円(2口以上大歓迎!) |
| 郵便口座番号 00120-0-772036 |
郵便口座名称 「維新都民」

【H】大前研一通信購読者拡大委員会

(委員長:治田桂四郎)

| 【大前研一通信・購読会員申込案内】 |
| 「1.郵送 2.パソコン通信」の別を記入。 |
| 郵便口座番号:00110-3-709334 |
| 振込名称:大前研一通信。 年会費:1万円。 |
問合先:TEL 03-3263-2411 FAX 03-3263-2430